

# 大阪発の ブロードウェイミュージカルをつくる



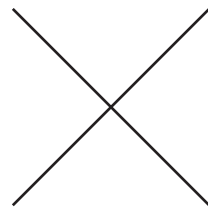
堀井良殷 理事長

出口最一 氏

中西俊臣 氏

## 出口最一

演劇プロデューサー



## 中西俊臣

ミナミ活性化委員会事務局長

## 堀井良殷

大阪21世協会理事長

### なぜ大阪で「初演」なのか

**堀井** 本場ブロードウェイミュージカルを大阪で初演するため、ニューヨークから帰ってこられたプロデューサーの出口最一さんを訪ねて、ミナミ活性化委員会事務局長の中西俊臣さんとともに、公演会場の『シアターBRAVA!』にやってきました。今回の公演はトライアウト公演と呼ばれ、ブロードウェイでの上演にさきがけて、観客の生の反応をみるために行う地方公演です。アジアで行われるのはブロードウェイ史上初とあって、大阪にとっても非常にエポックメイキングなできごとでもあります。一体、どんな舞台になるのでしょうか。



シアターBRAVA! (大阪市中央区)

**出口** ミュージカルのなかでも一番派手な、レビューというスタイルで行います。歌や踊り、美しい衣装などがふんだんに出てくる、豪華でエキサイティングなショーです。物語のベースは『不思議の国のアリス』。ひとりの少女が1960年代のアメリカに連れ去られ、戦争や革命などのいろんな体験をして、愛と平和の尊さを見つけて帰ってくるというストーリーです。だからタイトルは『TRIP OF LOVE』。音楽は、1960年代の全米ヒットチャート・トップ10の中から、ママス&パパス、ベンチャーズ、サイモン&ガーファンクルなど26曲を厳選しました。当時を知る方には、とても馴染みのある曲ばかりですよ。世界から一流のミュージシャンを集め、生のバンドで演奏しますから、それを聴くだけでも価値がありますね。

**堀井** 面白そうですね。それをなぜ大阪で初演しようと思われたのですか。

**出口** 私は奈良で生まれ、京都の大学に通い、大阪で演劇活動をしてきましたので、大阪・関西には強い思い入れがあります。学生時代に『屋根の上のバイオリン弾き』というミュージカルに出演していたとき、主演の森繁久彌さんが、「大阪はもともとお芝居のまちで、とくに道頓堀には、角座、中座、浪花座、朝日座、弁天座と劇場がいっぱいあった」とおっしゃっていました。かつての道頓堀